

## 答 辞

本日は、私たち卒業生のために、盛大な式典を挙げていただき、まことにありがとうございます。また、学長先生をはじめ、諸先生方、ならびにご来賓の皆様方に、ご臨席賜りましたことを、卒業生を代表して、心より御礼申し上げます。

入学してからの四年間はあっというまでした。入学当時は、どのような大学生生活が待っているのだろうか、期待に胸を膨らませていました。この四年間、とても多くのことを学びました。講義や部活動、専門分野の研究を通じ、視野を広げるとともに自ら学んでいく姿勢を身に付けることができました。そして、今ではあの頃にはなかった決意と希望を胸に卒業式を迎えています。

東京農工大学は小規模な大学で、キャンパスを歩いているとすぐに友人に出会います。そんな友人たちを抜きにして私の大学生活は語れません。農工大には、全国から学生が入学してきます。私は、入学前は東京にしか友人はいませんでした。それが入学した途端に全国に友人ができたのです。これほど楽しいことがあるのでしょうか。全国から集まってきた農工大生は、多様な価値観を持ち、それを互いに尊重しあう素晴らしい人たちです。そんな友人たちと、学園祭を作り上げたり、スポーツをしたり、様々な場所に旅行した、夢のようなあのひとときを私は忘れません。

今日は、自分をおおいに成長させてくれた人たちと別れ、それぞれが新たな道に進んでいく節目の日です。別れは辛いものですが、また新たな出会いが待っています。ひとつひとつの出会いを大切にして、素晴らしい人生となるよう精進してまいります。

最後になりましたが、今までご指導して下さいました先生方、学生生活を支えていただいた職員の方々、私を支えてくれた友人、先輩、後輩に心から御礼申し上げます。そして、今日この日までわがままいっぱい私を育て、成長を温かく見守ってくれた両親と姉に深く感謝いたします。

本日は本当にありがとうございました。皆様方のさらなる御活躍を心よりお祈り申し上げ、感謝の気持ちを込めて、答辞とさせていただきます。

東京農工大学 農学部 応用生物科学科 4年 向井 紳一郎